



「貨幣の歴史」

副題 造幣局の歴史と大川のかかわり

第206回 河川文化を語る会



2022年11月28日



5つの時代区分

① 物々交換から皇朝十二銭の時代

② 渡来銭の時代(公鑄貨不在の時代)

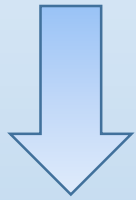
③ 徳川幕府貨幣制度の時代

④ 明治から現代貨幣の時代
(造幣局の誕生)

⑤ 将来の貨幣

～お金のはじまり～

自給自足



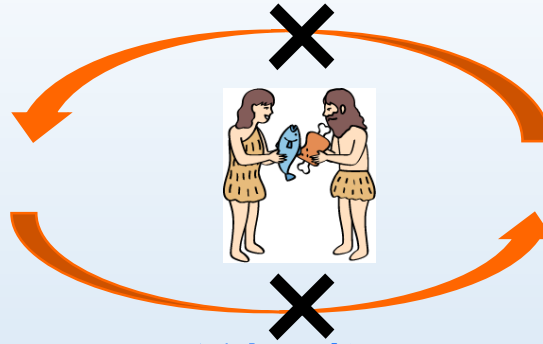
物々交換



いくつと交換??どのように交換??



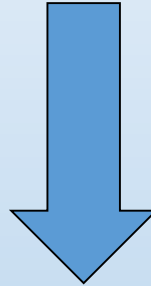
山のもの



種類:数量



海のもの



皆が欲しがる共通のもの



～お金のはじまり～

物品貨幣のいろいろ



稻



布



塩

…などなど

～お金のはじまり～

資
費
購

賃
買
貧



貝貨
【殷・周】

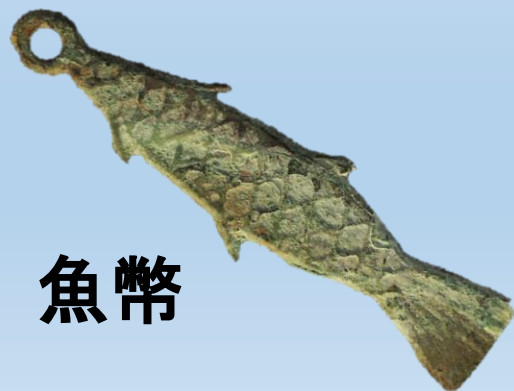
賣
賜
贈
財
賞
貯
貨

～世界で最初のお金～



布幣

【中国、紀元前8～7世紀】



魚幣

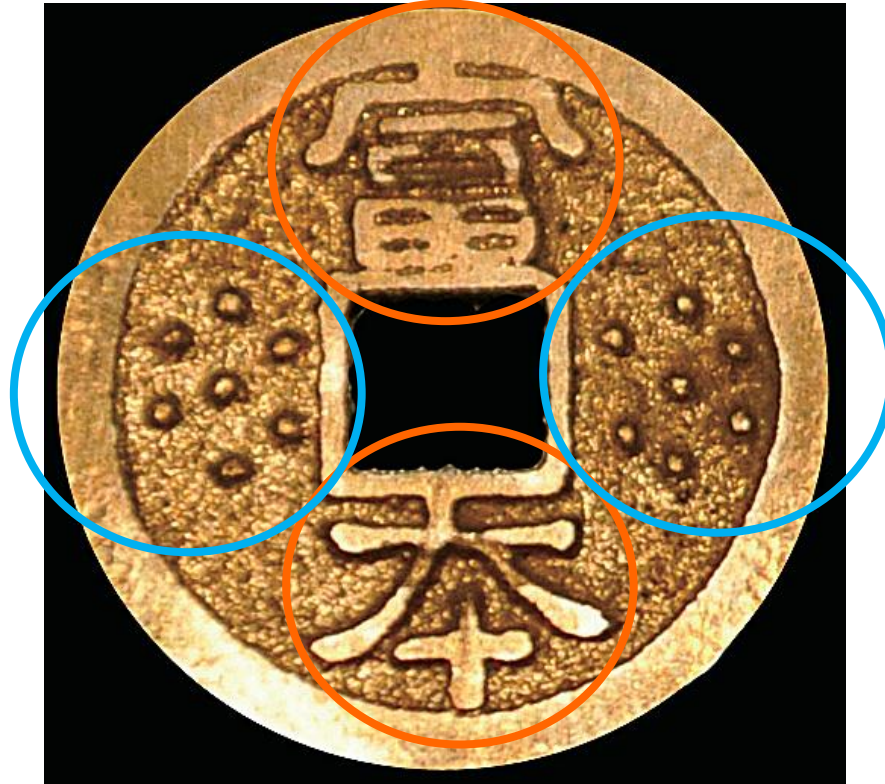


刀幣

【中国、紀元前8～7世紀】

～日本で最初のお金①～

る本
国を富ませ、民を富ませ

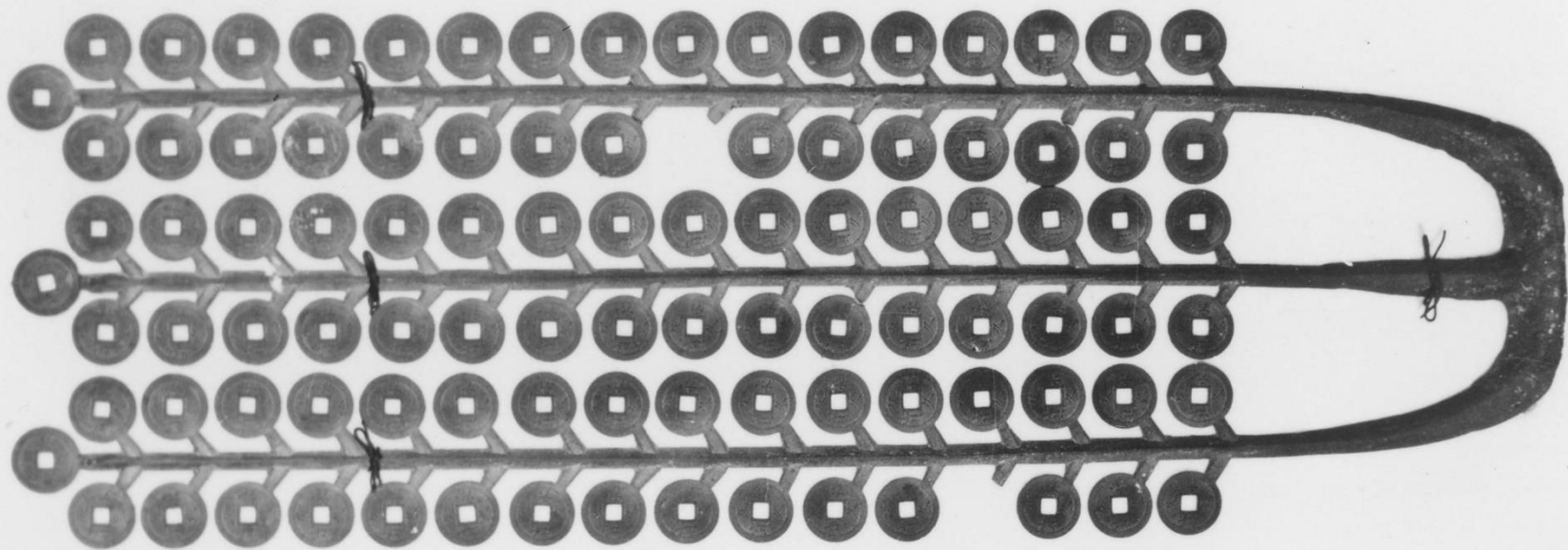


富本銭

陰陽五行思想

(日・月・木・火・土・金・水)

枝錢



～日本で最初のお金②～

～モデルとなったお金～



和同開珎
【日本】



開元通寶
【唐】

～皇朝十二錢～



和同開珎
(708年)



萬年通寶
(760年)



神功開寶
(765年)



隆平永寶
(796年)



富壽神寶
(818年)



承和昌寶
(835年)



長年大宝
(848年)



饒益神寶
(859年)



貞觀永寶
(870年)



寬平大宝
(890年)



延喜通寶
(907年)



乾元大宝
(958年)

～渡来銭～

国家が保証しなくても流通した貨幣



寛元重宝



天漢元寶



宋元通寶



皇宋通寶



淳祐元寶



至大通寶



大中通寶



永樂通寶



洪武通寶

当事者の信頼と合意

～渡来銭～



永樂通寶



庶民が好んで使用

なぜ？

大量

形・品質が一定



高い信頼性

竹流金



安土桃山時代1580年代
量目：98.6g
品位：金730/1000

菊桐金錠



安土桃山時代1580年代
量目：164.0g
品位：金730/1000

豊臣秀吉が造った世界最大級の金貨

天正菱大判

1591 (天正19) 年



天正長大判

1589 (天正17) 年

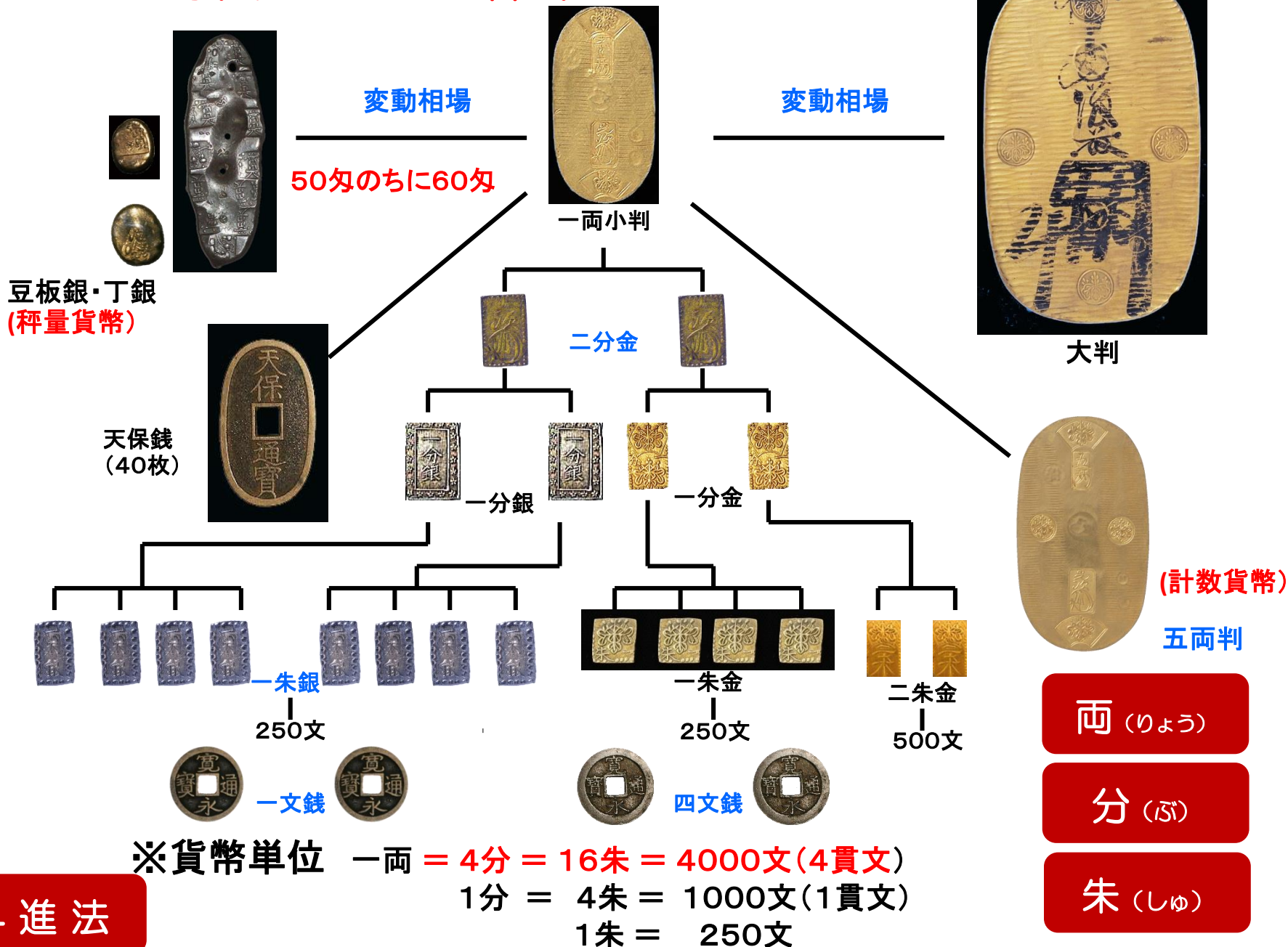


長さ17.5cm 幅10.2cm

江戸時代の貨幣製造法(金座)



～江戸時代のお金の体系図～



4進法

江戸時代は三貨制度

金

両・分・朱



小判

計数貨幣

銀

匁



丁銀



豆板銀

秤量貨幣

銅

文・貫



天保通宝



寛永通宝

～江戸時代のお金～

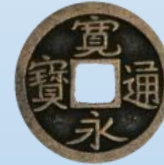
【士族】 金貨



【商人】 銀貨



【庶民】 銭貨

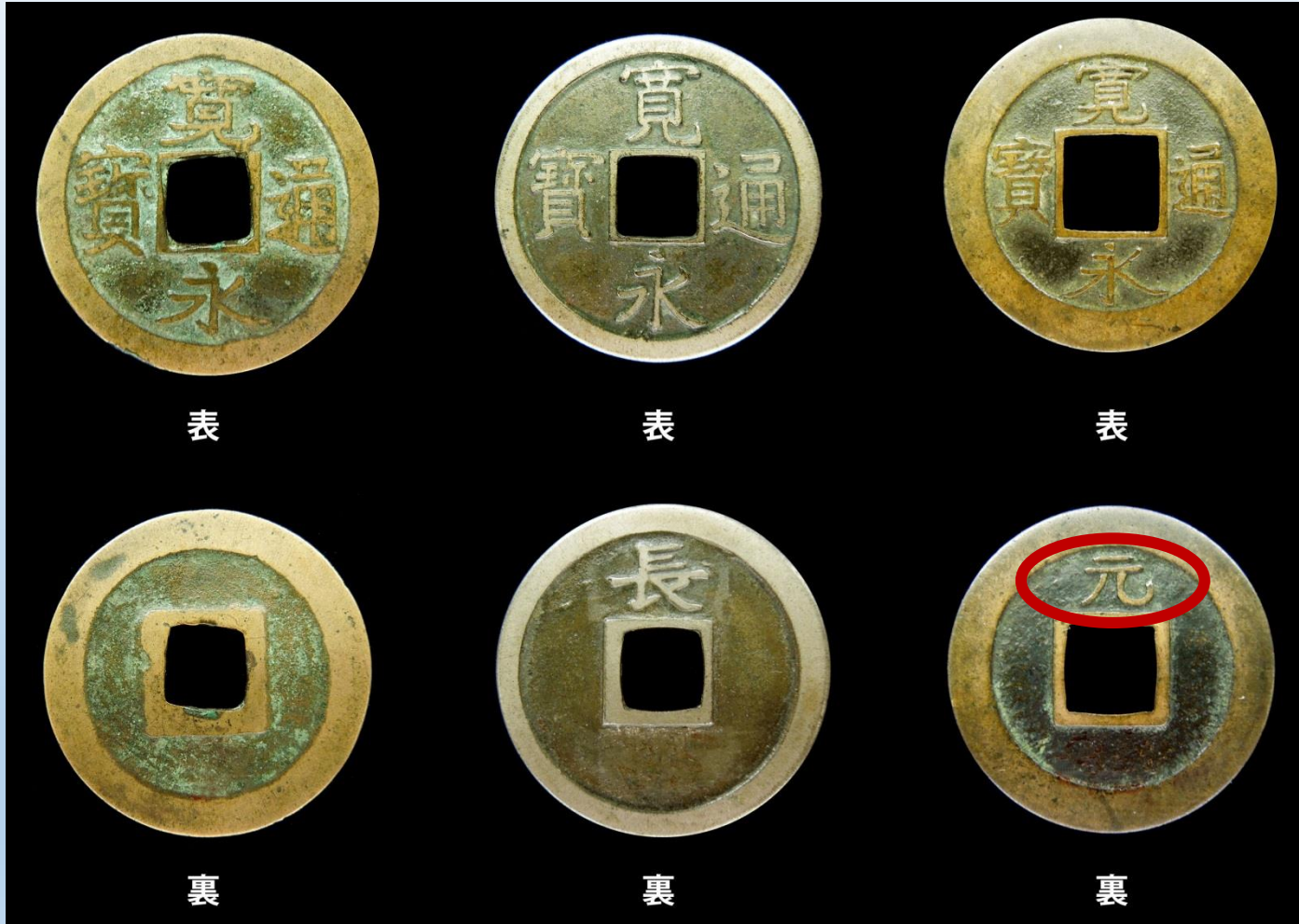


【地域】 「江戸の金遣い、大坂の銀遣い」

【両替】 金貨 ⇔ 銀貨

寛永通宝

重さ：3.75 g



佐
足
卜
文
仙

江戸時代の1両の価値は？



江戸 初期 中期 後期

一両 ≒ 10万円 ≒ 6万円 ≒ 1万円

1文  ≒ 20円

米価での換算：約6万円、
大工の賃金で換算：約32万円

江戸時代の大判は軍事用 おくりもの ほうび

種類=5種類



慶長大判

元禄大判

享保大判

天保大判

万延大判



67%
3,000万円

52%
5,000万円

68%
900万円

1838
(天保9)
165.4g

1601
(慶長6)
164.3g

1695
(元禄8)
165.0g

1725
(享保10)
165.4g

1860
(万延元)
112.5g

慶長小判



元禄小判



宝永小判



正徳小判



改鑄の目的：
貨幣発行増に伴う発行差益の獲得
(財政の窮乏の打開、経済発達に伴う貨幣需要の増大)

86%

1601
(慶長6)
17.8g

56%

1695
(元禄8)
17.8g

83%

1710
(宝永7)
9.4g

86%

1714
(正徳4)
17.8g

享保小判



元文小判

(真文小判)



文政小判



天保小判



元文の改鑄: 含有量を減少させ貨幣量の適正化を図り、経済、物価の安定をさせた。

86%

1714
(正徳4)
17.8g

65%

1736
(元文元8) →
13.1g

56%

1819
(文政2)
13.1g

57%

1837
(天保8)
11.25g

安政小判



56%

1859
(安政6)
9.0g

万延小判 (雛小判)



57%

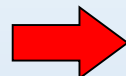
1860
(万延元)
3.3g

金貨流出の図式

メキシコドルを日本へ持ち込み
日本の銀貨と交換



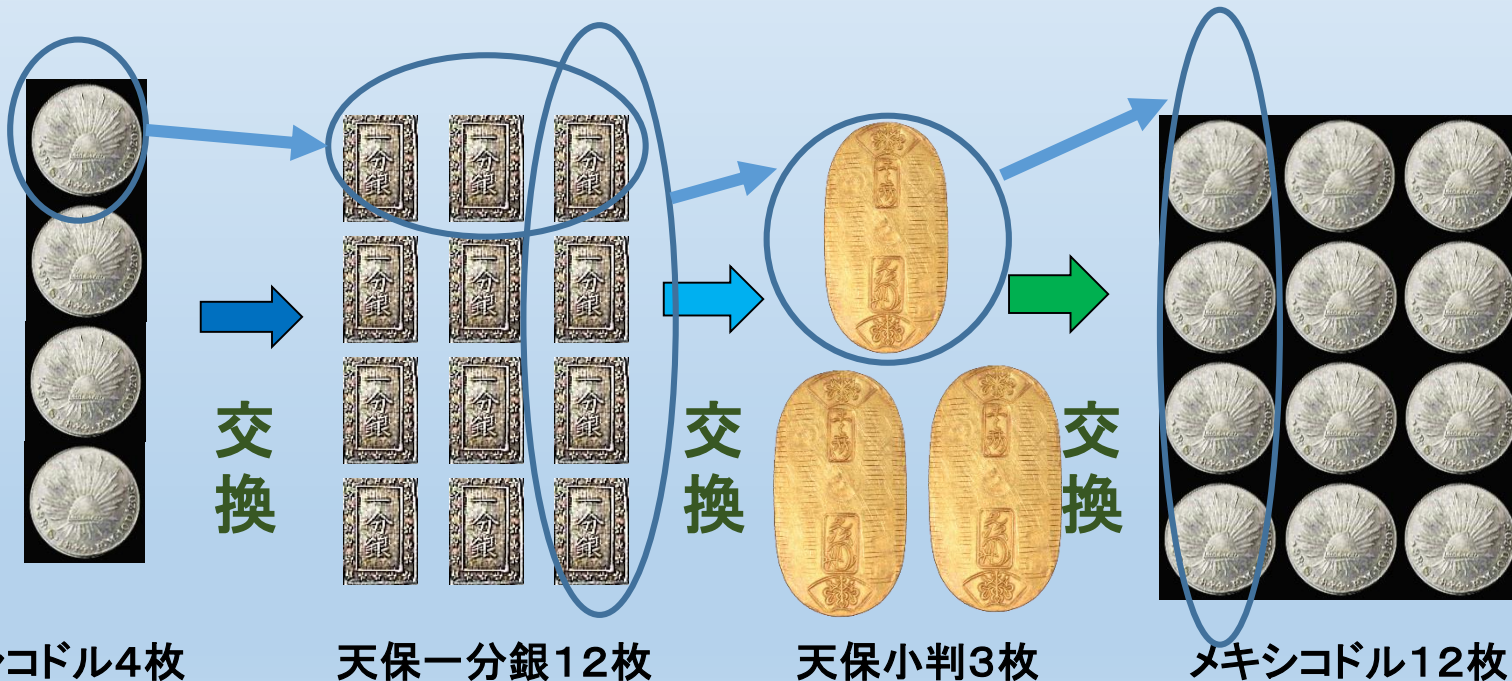
日本国内で
銀貨を金貨に交換



日本の金貨を
海外でメキシコドルに交換

1ドル = 3分

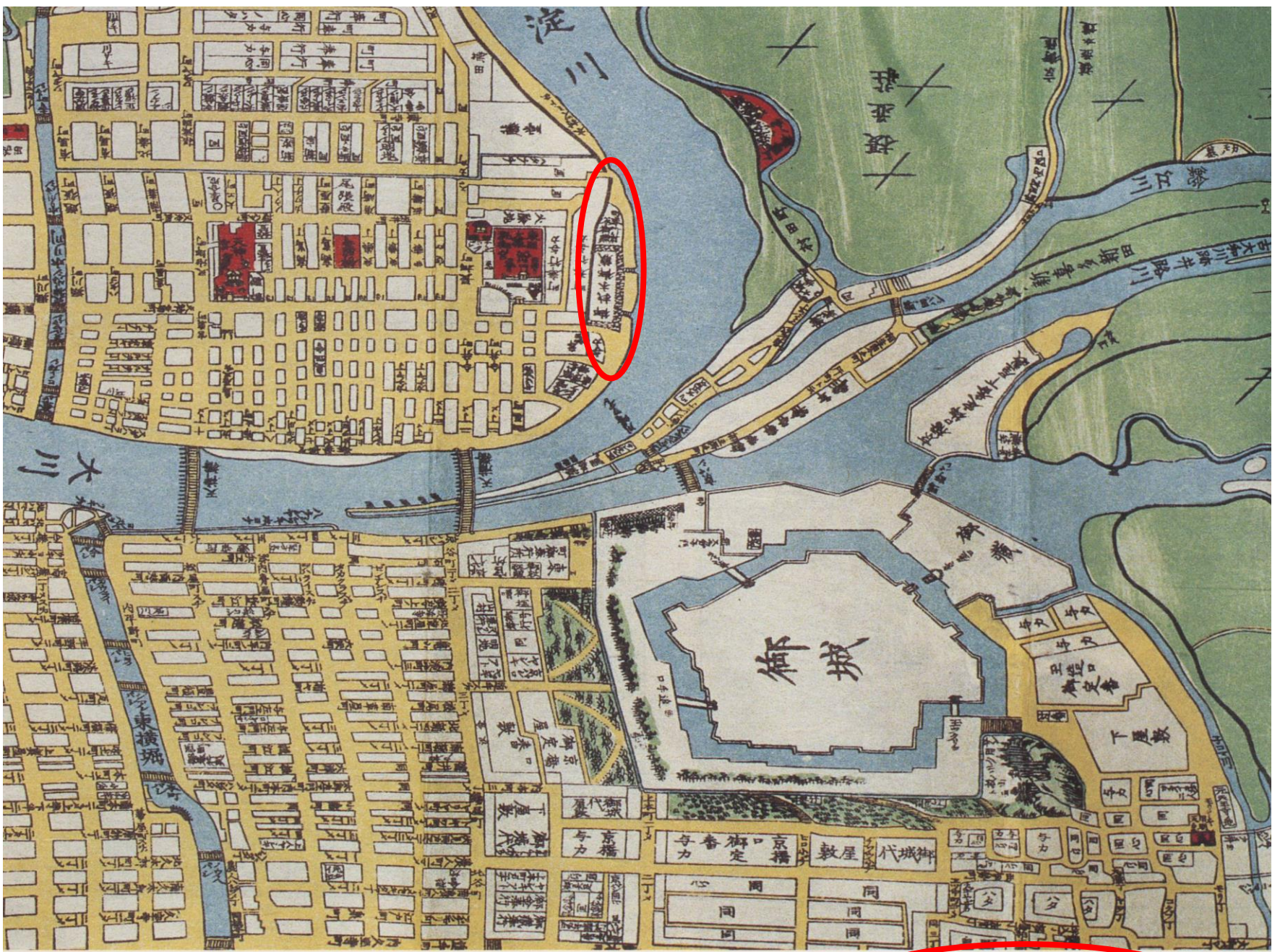
欧米 金1:銀15
日本 金1:銀5



同種同量で交換

4分=1両で交換

小判1枚=洋銀4枚と交換



造幣局の建設位置

造幣局設立

なぜ大坂(阪)に設置されたのか

- ① 王政復古の大事業に貢献した大坂財界に対する配慮
- ② 大坂遷都論があったこと
- ③ 当時、江戸の治安が悪かったこと
- ④ 大坂が天下の台所で経済の中心であったこと

などがあげられますが、決定的な理由は不明

～明治時代のお金のしくみ～

1円 = 金 1.5g = 1ドル = 1両

金本位制

通貨の単位 ⇒ 「円」

十進法 ⇒ 「円」 ・ 「銭」 ・ 「厘」

新貨条例（明治4年5月制定）

～造幣局設立と円の誕生～



20円金貨幣（表）
1870（明治3）年



10円金貨幣（裏）
1871（明治4）年



5円金貨幣
1870（明治3）年



2円金貨幣
1870（明治3）年



1円金貨幣
1871（明治4）年



1円銀貨幣（貿易用）
1870（明治3）年



50銭銀貨幣
1870（明治3）年



20銭銀貨幣（裏）
1870（明治3）年



10銭銀貨幣
1870（明治3）年



5銭銀貨幣
1870（明治3）年

円

銭

厘



2銭銅貨幣
1873（明治6）年



1銭銅貨幣
1873（明治6）年



半銭銅貨幣（裏）
1873（明治6）年



1厘銅貨幣
1873（明治6）年



寛永通宝(一文銭)
量目:3.75g
1厘通用



寛永通宝(四文銭)
量目:4.88g
2厘通用



文久永宝(四文銭)
量目:3.38g
2厘通用



天保通宝(百文銭)
量目:20.63g
8厘通用

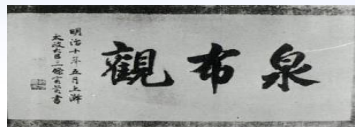


万延小判(雛小判)
1860(万延元)年
量目:3.3g
品位:573/1000

新1円金貨と等価

旧桜宮公会堂 旧金銀貨幣鑄造場の正面玄関



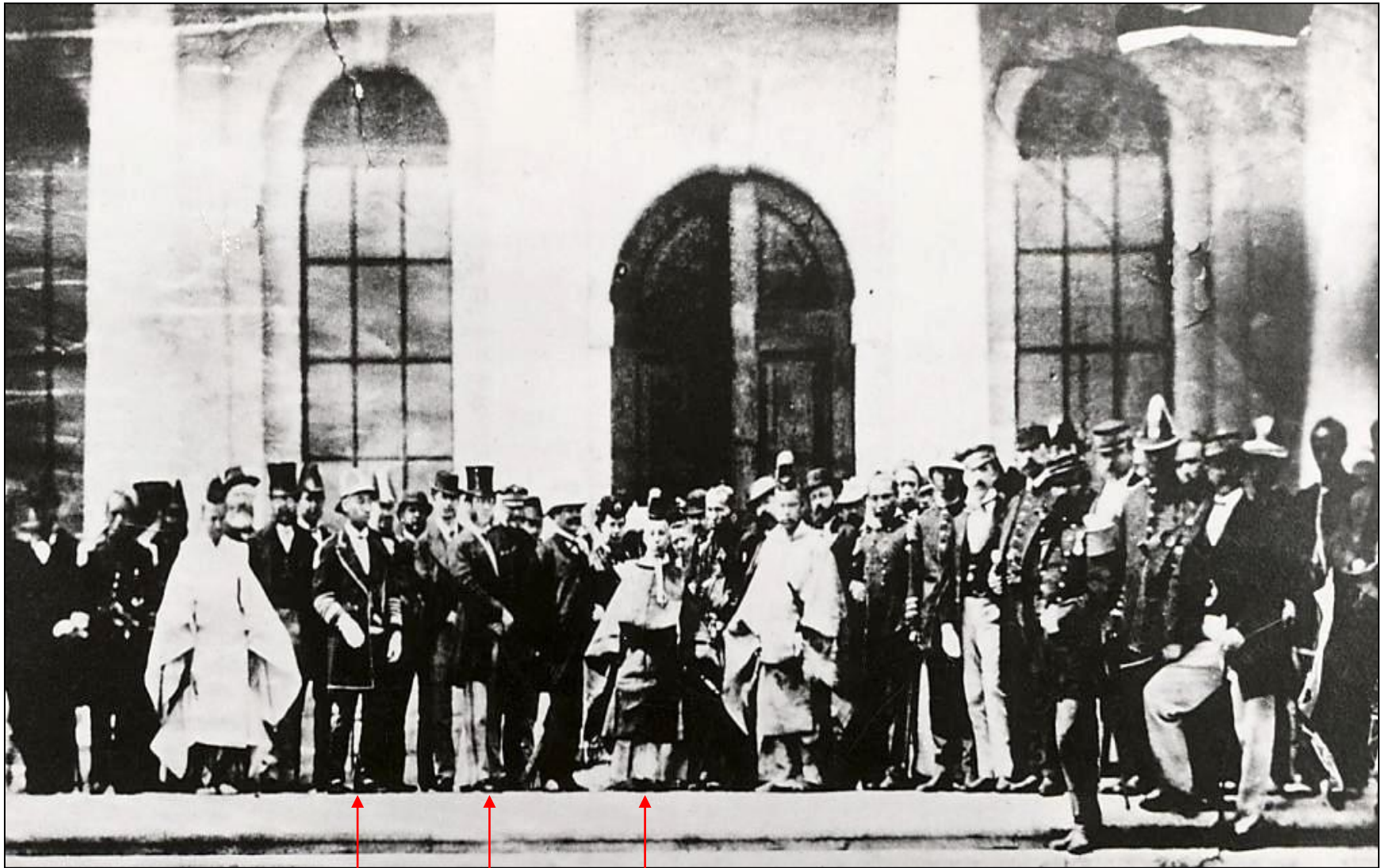


・三条実美筆の扁額





旧正門



馬渡 造幣頭 イギリス公使パークス 三条実美

創業当時の圧印機



フランス:トネリエ社製



ドイツ:ウールホルン社製



かのう なつ お
加納夏雄
1828-1898



のり ちか
大野規周
1820-1886



よしひろ
久世喜弘
1826-1882



大造幣寮御外雇人表

人名 職掌 齎給

明治七年

トイテハ... 首長 美千〇〇〇
キントル
試験分方 四百〇〇

銀験試
三百〇〇

金銀液

金銀液

極印

極印

極印

極印

極印

極印



T.W. キンドル

W. ガウランド

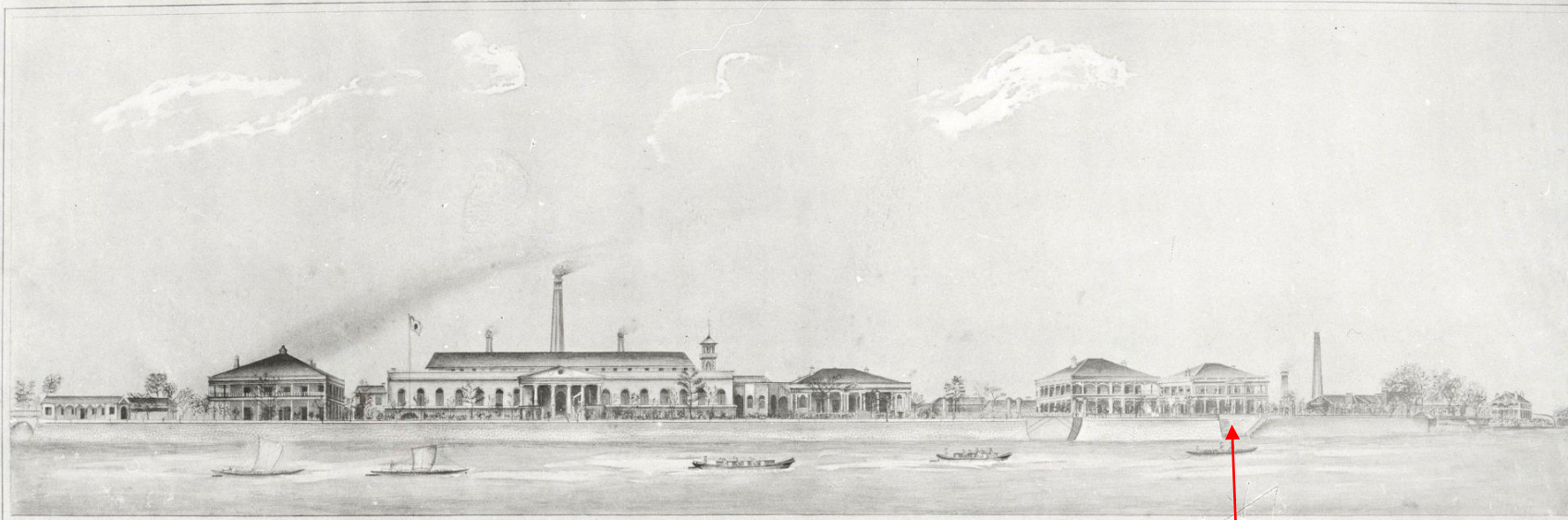
V.E. プラガ

Handwritten notes in red ink, including dates like '明治七年' and '二月'.

明治七年四月

明治七年

局幣造坂大國帝本日



IMPERIAL MINT OSAKA JAPAN

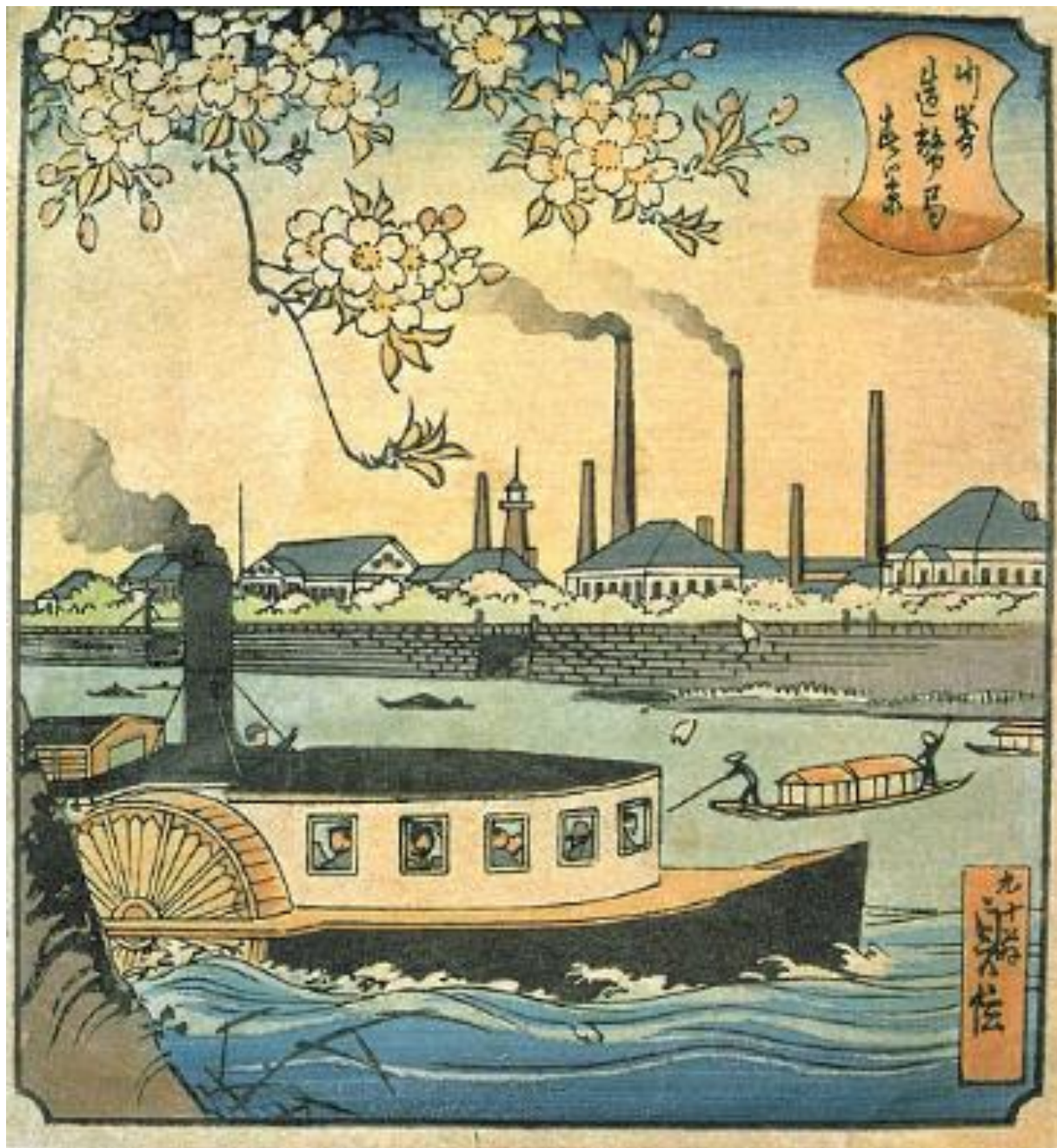
明治二十五年大坂造幣局
贈寄氏一馬田岡
明治二十五年大坂造幣局
編成ニシテ人爾伊

マンチニの絵

泉布観

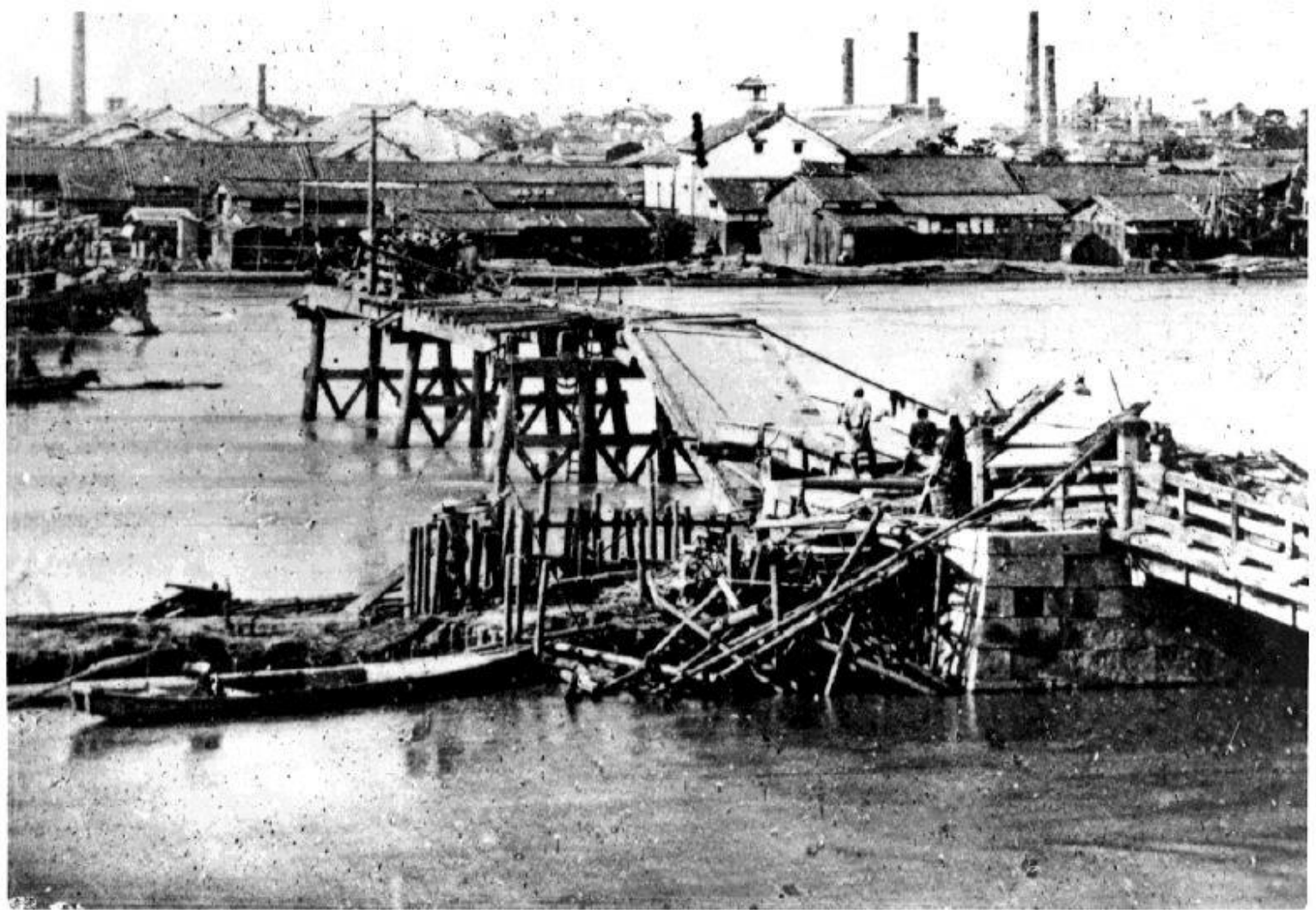
創業当時の錦絵





造幣局前の淀川を運行する蒸気船を描いた錦絵

明治18年の大洪水で流失した天満橋

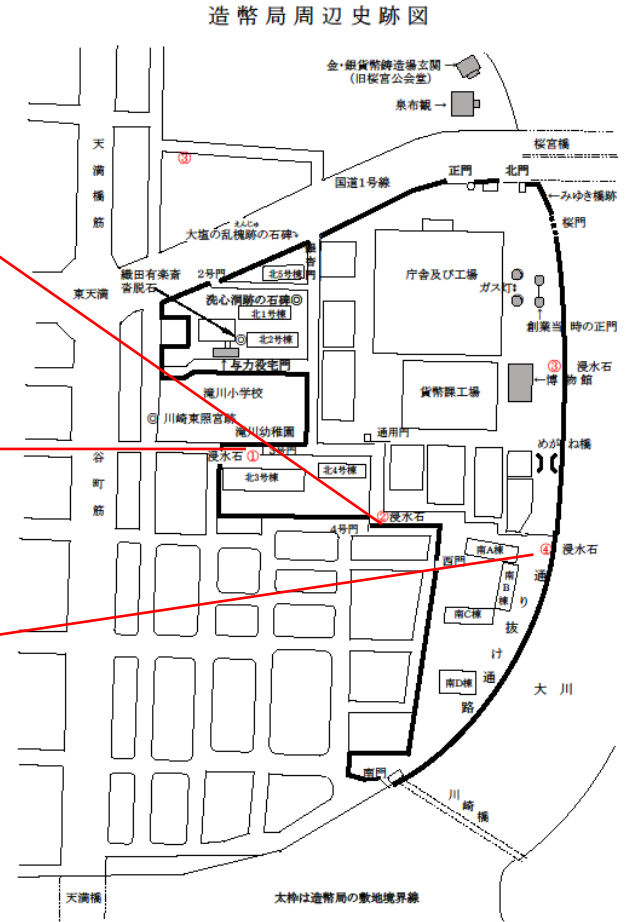


洪水標示石

①



②



④

③



みゆき橋跡



現在製造(発行)されている貨幣



現在製造(発行)されていないが通用力を有する貨幣



記念貨幣





昭和26年
1951年4月2日
岩倉具視



昭和44年
1969年11月1日
岩倉具視



昭和57年
1982年



平成12年
2000年5月



令和3年
2021年11月1日



区 分	三代目500円貨幣	二代目500円貨幣 (初代貨幣)	
素 材	ニッケル黄銅 白銅及び銅	ニッケル黄銅	← (白銅)
品 位	銅 750 亜鉛 125 ニッケル 125	銅 720 亜鉛 200 ニッケル 80	← (750) (0) (250)
量 目	7.1 g	7.0 g	← (7.2 g)
縁	異形斜めギザ	斜めギザ	← (レタリング)
直 径	26.5mm	26.5mm	← (26.5mm)
発行時期	2021年11月1日	2000年 (平成12年)	(1982 s57)



異形斜めギザ



潜像



JAPAN

微細線



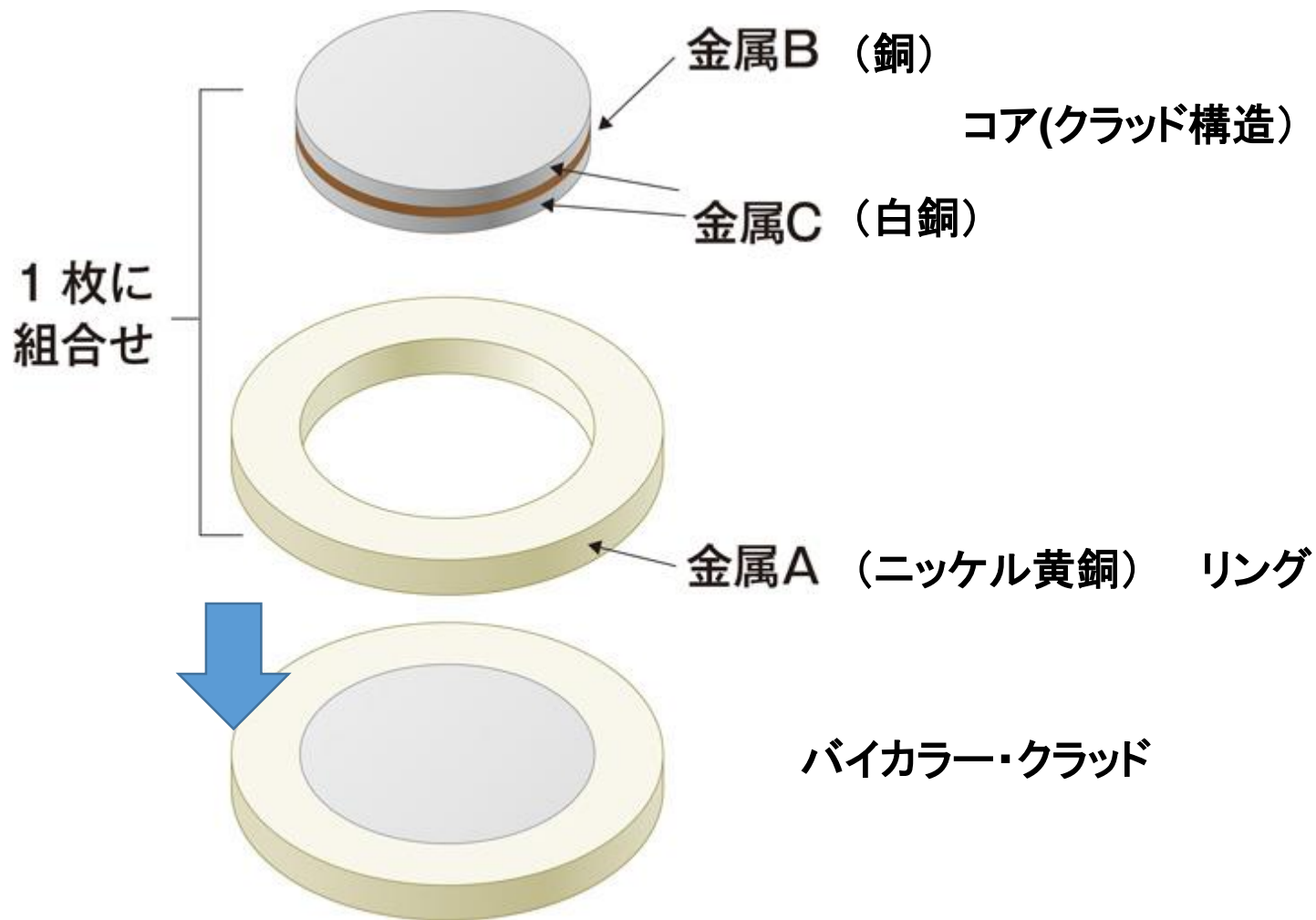
微細点

500YEN

微細文字

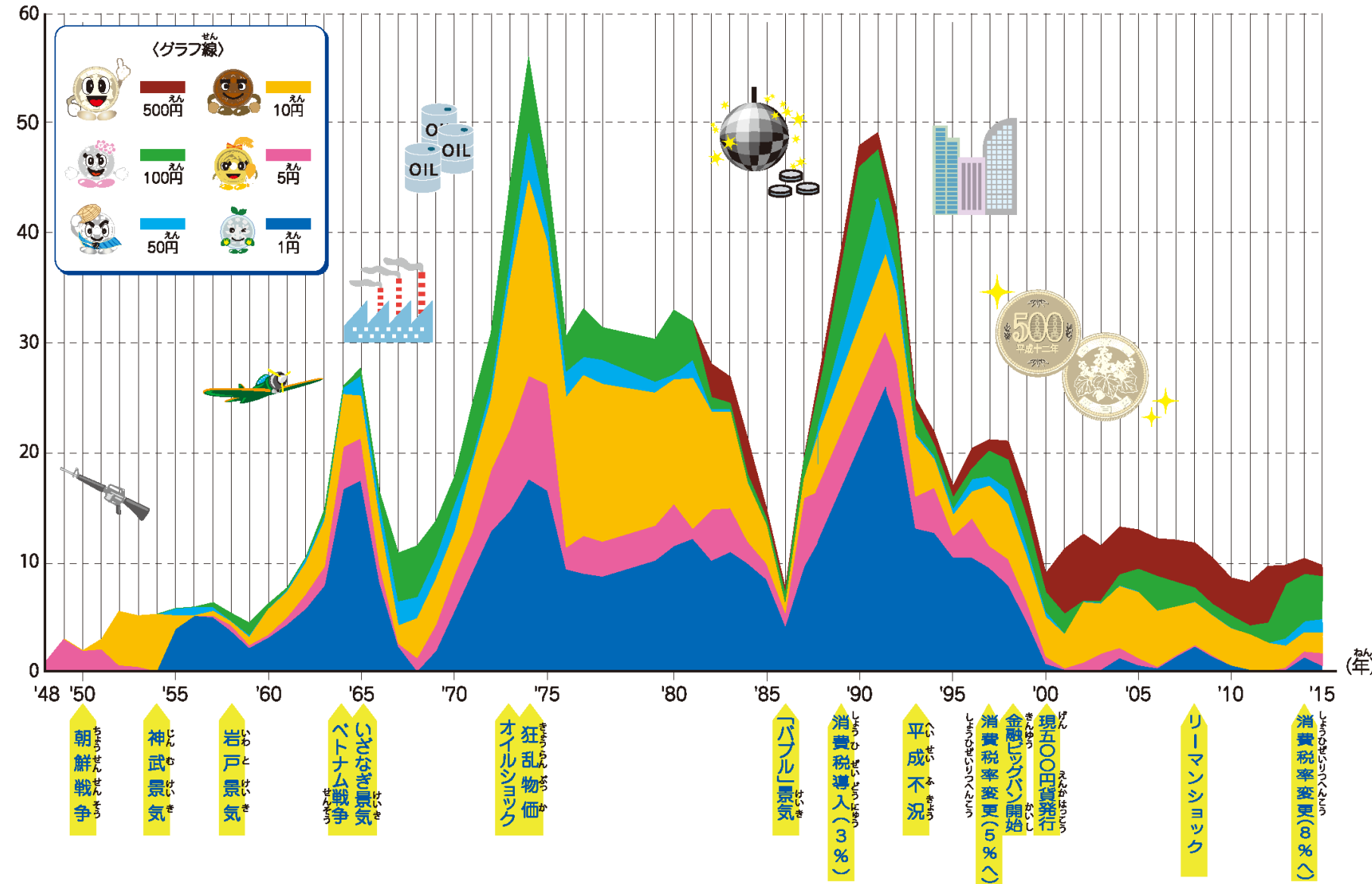
バイカラー・クラッド

異なる種類の金属を組み合わせたバイカラー・クラッド

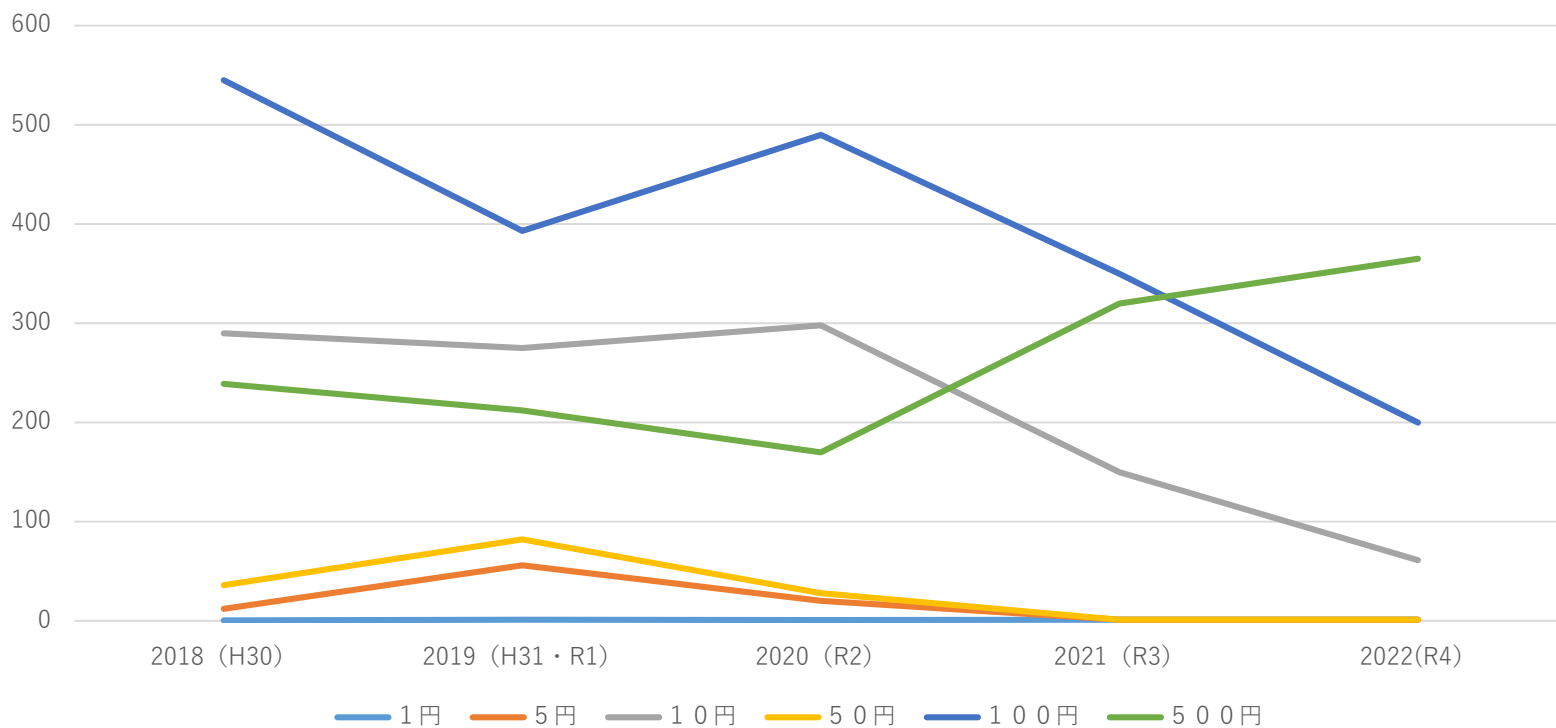


しゃ かいじょうせい か へいせいぞうまいすう すいし
社会情勢と貨幣製造枚数の推移

げんざいせいぞう きゅうかへい ふく きねんかへい ふく
 ※現在製造されていない旧貨幣も含む。記念貨幣は含まない。



年度別 貨幣製造枚数



年度別 貨幣製造枚数

単位：百万枚

年	1円	5円	10円	50円	100円	500円	計
2018 (H30)	0.45	12	290	36	545	239	1122.45
2019 (H31・R1)	1.1	56	275	82	393	212	1020.00
2020 (R2)	0.712	20	298	28	490	170	1006.00
2021 (R3)	1	1	150	1	350	320	823.00
2022(R4)	1	1	61	1	200	365	629.00

現金需要が高い背景

- ・現金決済を好む国民性
- ・銀行不安を背景に
預金から現金に資金シフト
- ・長期低金利で預金への動機づけが低下
⇒現金信仰
- ・治安が良く、現金持ち運びの不安が少ない
- ・紙幣、硬貨のクリーン度が高い
などなど

現金決済のメリット... ①多くの場所で利用できる
②手数料などコストがかからない
③支払いにかかる時間が短い

脱・現金の流れ(キャッシュレス時代)

端末導入コストの低下

製造・輸送・警備・保管・管理コストの削減

売上げ集計時間の短縮、レジ作業が大幅減

つり銭準備省略

ATM経費の削減(銀行間共通化)300万円/台

銀行にとって最も金のかかっている事務は「現金の取り扱い」

【新型コロナウイルス感染防止】

不特定多数が触れる現金

→受け渡しが感染リスクに

→接触機会の減少

人々の意識の変化は、接触から非接触への流れ

この先 レスキャッシュ時代

現金をなくすことは、決済インフラをむしろ不便にすることになる。

地方の高齢者を中心に... 地震などの災害時に...

→現金とキャッシュレス決済の併存へ

小額硬貨とATMの減少

現金決済手段としての存在感の弱まりへ

2025年目標 40%のキャッシュレス比率(2021年 32.5%)

反対に見れば60%は現金決済

デジタル給与

政府は給与をデジタルマネーで受け取る制度を2023年4月にも
解禁 決済アプリに入金

中央銀行デジタル通貨

まとめ

自給自足



物々交換



物品貨幣



金属貨幣



電子マネー



電子データ



交換手段
+
価値尺度
+
価値保存

お金の過去・現在・将来



	交換媒体	信頼対象
過去	米・塩・布・ 金・銀	モノ
現在	貨幣 紙幣 電子マネー	政府 日本銀行
将来	電子データ	仕組み

講演内容の一部は、講演者の主観に基づくものもあるため、必ずしもその正確性を保証するものではありません。

なお、使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬につきましては、ご容赦ください。



ありがとうございました。

